

指標 3.7.2

指標名、ターゲット及びゴール

指標 3.7.2 女性 1,000 人当たりの青年期（10～14 歳；15～19 歳）の出生率

ターゲット 3.7 2030 年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする。

ゴール 3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

定義及び根拠

- 定義
女性人口千人当たりの母の年齢階級が「15～19 歳」の年次別出生率及び母の年齢が 14 歳以下の出生数
- 概念
母の年齢階級別出生率とは、女性人口千人に対する年間出生数の割合を母の年齢階級別にみたものである。
- 根拠及び解釈
出生率（女性人口千対）は、母の年齢「15～49 歳」の 5 歳階級別に集計している。

データソース及び収集方法

人口動態統計

算出方法及びその他の方法論的考察

- 算出方法
15～19 歳の母親の年齢階級別出生率は、

$$F_{15-19} = \frac{15\sim 19 \text{ 歳の母が 1 年間に生んだ子の数}}{10 \text{ 月 1 日現在における日本人女性の } 15\sim 19 \text{ 歳の人口}} \times 1000$$

で計算することができる。

○ コメントと限界

14歳以下の出生数は「14歳以下」にまとめて集計しており、「10～14歳」の年齢階級区分では把握していない。そのため、10～14歳の女性人口千人当たりの出生率については算出しておらず、14歳以下の出生数のみ把握が可能。

データの詳細集計

母の年齢「14歳以下」出生数、母の年齢階級「15～19歳」の出生率（女性人口千対）

参考

（最新年の2017年版）

上巻 出生 第4.6表

母の年齢別にみた年次別出生数・百分率及び出生率（女性人口千対）

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/file-download?statInfId=000031743389&fileKind=1>

データ提供府省

厚生労働省

関連政策府省

こども家庭庁

担当国際機関

国連経済社会局人口部（DESA Population Division）